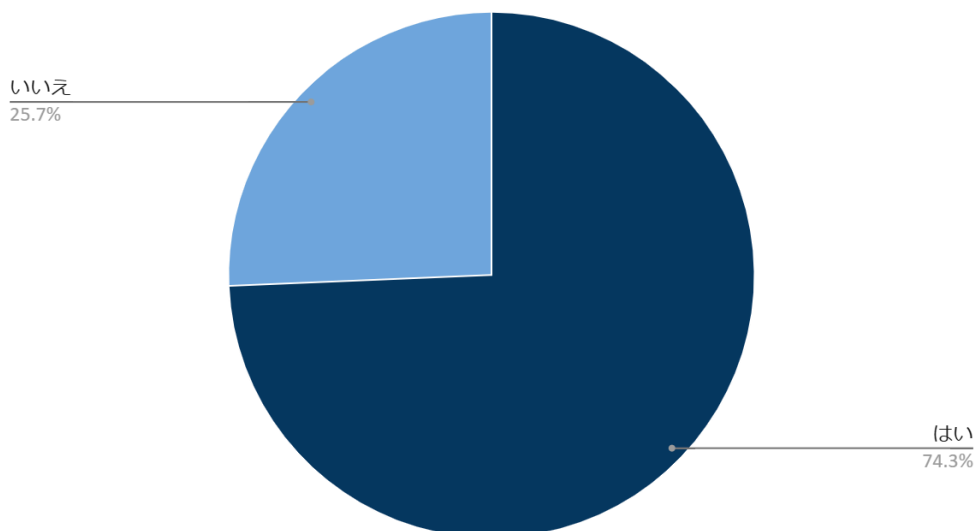


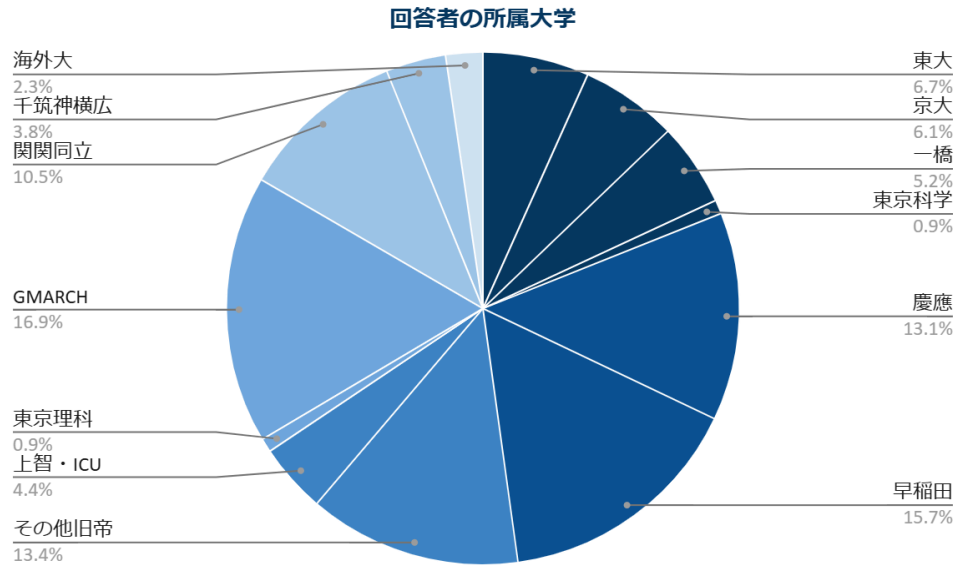
## 外資就活ドットコム:26卒学生の就活に関する意識調査 サマーインターン後には74%の学生が志望業種「明確」 ~優秀層の学生343名が回答~

「世界で挑戦できる人材を育み、未来を創る」を掲げ、ユーザーファーストを追求したキャリアプラットフォーム「外資就活ドットコム」を運営する株式会社ハウテレビジョン(東京都港区、代表取締役:音成洋介)は、2026年卒業予定の外資就活ドットコム会員(大学生のみ)を対象に、就職活動に関する意識調査を実施しました(有効回答数:343)。本格的な選考開始を目前に控えたウインターインターンの時期には、既に志望業界を固めている学生が多い事などが分かりました。

現段階で志望している業種は明確になっていますか



回答者の約50%は東京大学・京都大学・早稲田大学・慶應大学・一橋大学・東京科学大学のいわゆる上位校学生が占め、旧帝大全体やGMARCHも含めると80%超となります。



### 調査結果サマリー

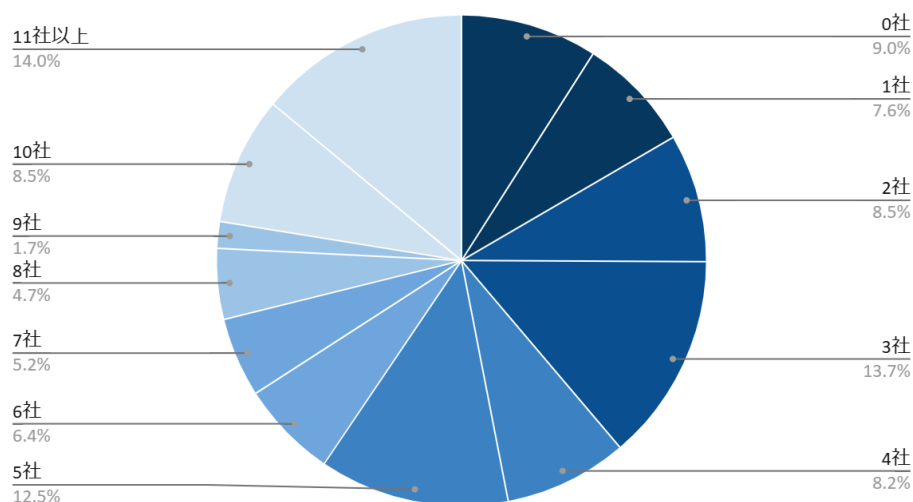
1. 74%が志望業種が「明確になっている」
2. サマーインターンを経て4割が志望業種・職種に変化
3. 就活終了の希望時期は「4年生の6月」と長期化
4. サマーインターンから本選考に進む学生が多数派
5. 企業選びで大切にしていることは「収入が高い」

### 調査結果詳細

1. 74%が志望業種が「明確になっている」

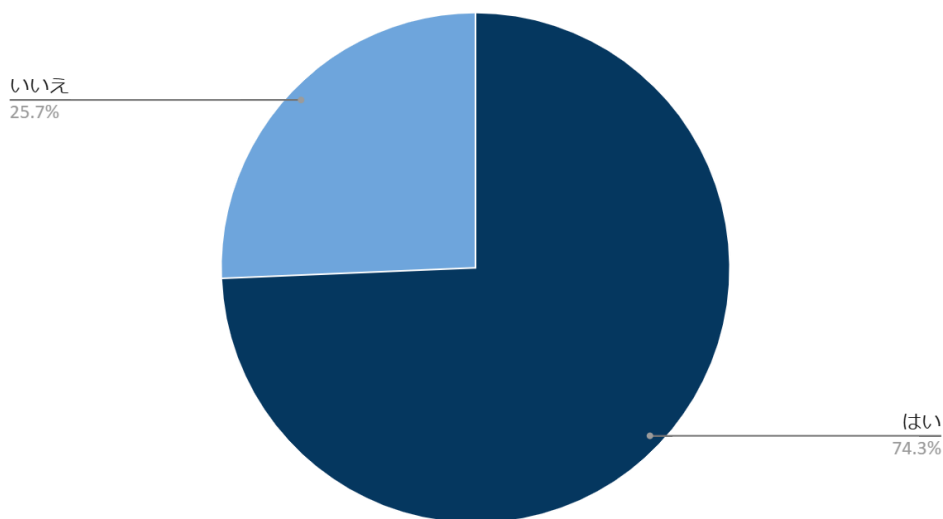
コンサル業界や外資系企業を志望するにあたって、もはや「本選考」の一部となっているサマーインターンシップ。サマーインターンに参加した社数を聞いたところ、11社以上に参加した人が14%と一番多い回答となりました。2番目に多かったのは3社で13.7%。0社だった人は9%にとどまり、複数社のサマーインターンに参加する学生が圧倒的に多数派であることが分かります。

参加したサマーインターン/ジョブは何社でしたか



サマーインターン参加後の志望業種については、「明確になっている」と答えた学生が4分の3を占めました。サマーインターン後には既に志望業界を固めている学生が多く、優秀な人材を獲得したい企業は、早い時期からのアプローチが必須であると言えるでしょう。

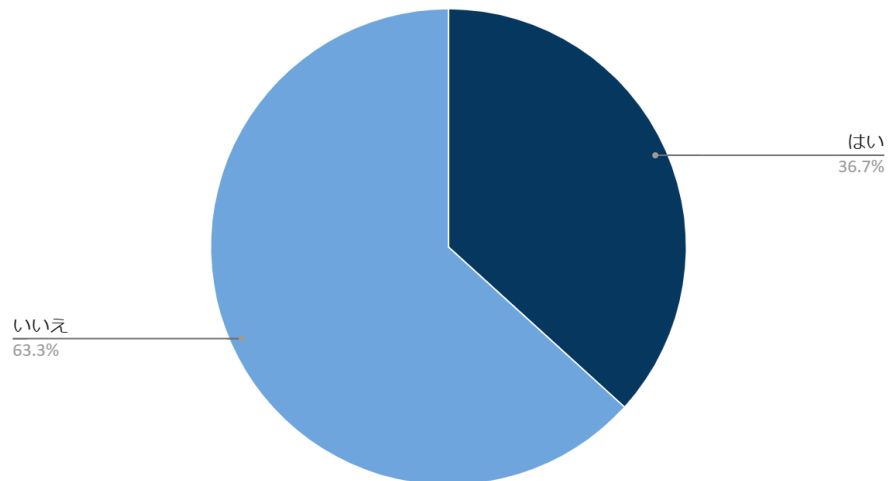
現段階で志望している業種は明確になっていますか



## 2. サマーインターンを経て4割が志望業種・職種に変化

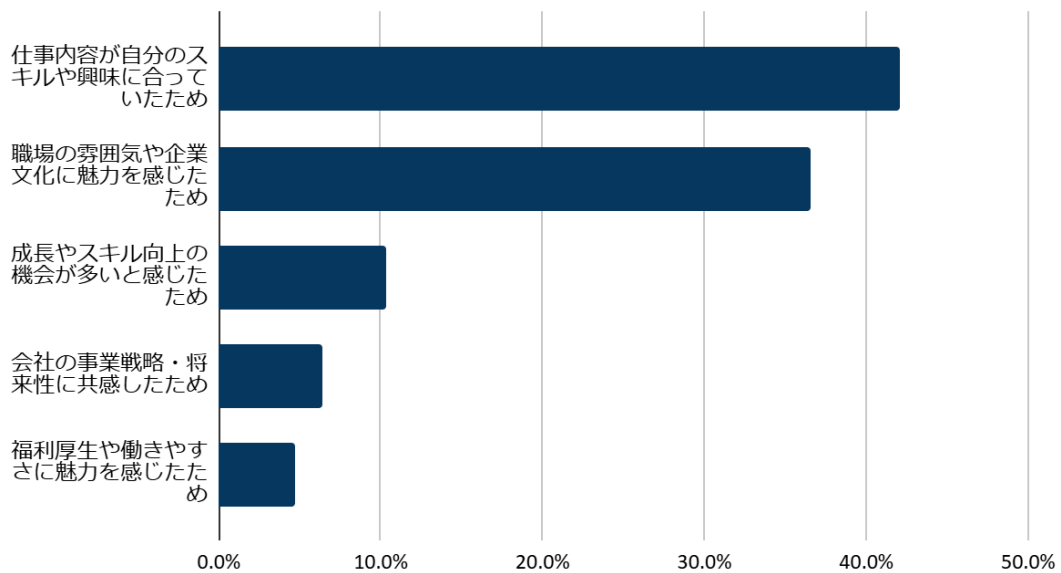
サマーインターンシップを通じて、志望業種や職種に変化があった学生は4割弱でした。

サマーインターンシップ/ジョブを通じて志望業種・職種に変化はありましたか



志望職種が変化した理由を聞いたところ、「仕事内容が自分のスキルや興味に合っていたため」と「職場の雰囲気や企業文化に魅力を感じたため」の二つが他を引き離して多い結果となりました。インターンを通じて自身が働くイメージや雰囲気の良さを感じ取れた場合、志望を変更する人が多いようです。

変化した理由を教えてください

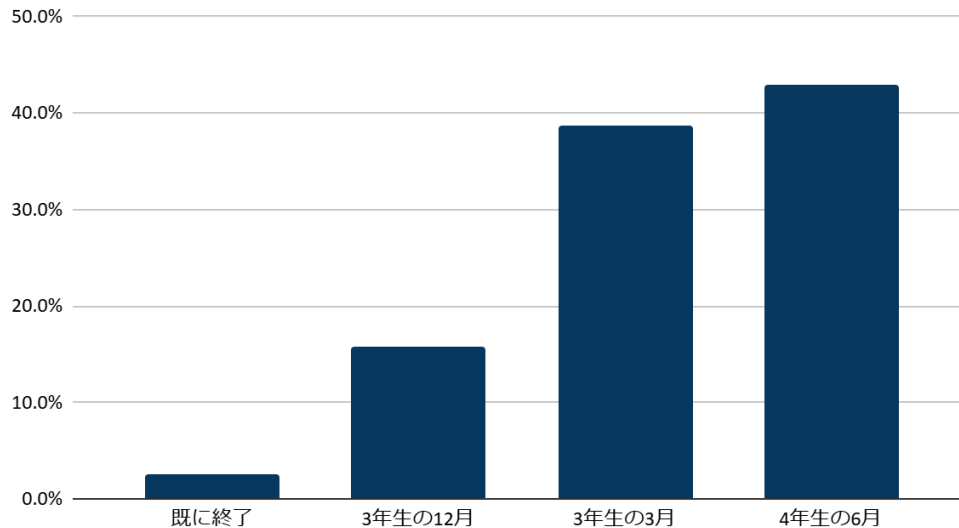


### 3. 就活終了の希望時期は「4年生の6月」と長期化

いつまでに就職活動を終わりたいか、という質問には、「4年生の6月」と答えた学生が4割超となりました。サマーインターンに参加するなど早くから就活を始めている学生たちでも、政府が定

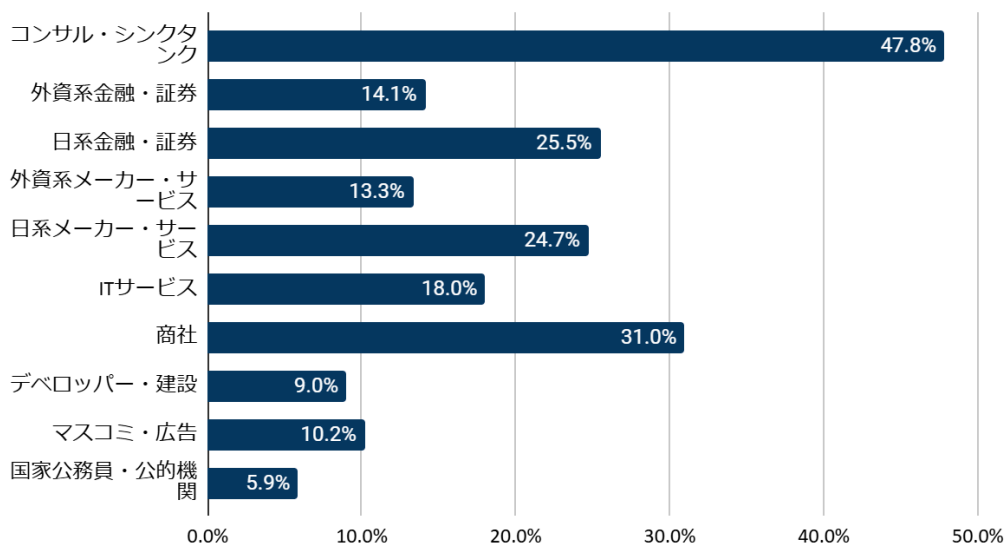
めている採用選考活動のスタート時期まで就活を続ける人が多数派であることが分かります。年々進む就活の早期化・長期化を表している結果と言えるでしょう。

現段階でいつまでに就職活動を終わりたいと考えていますか



志望業種は、「コンサル・シンクタンク業界」がトップでした。早い内から経験をつめることや年収帯が高いことなどから、優秀層大学生からの人気は定着しています。一方、2位以下は「商社」「日経金融・証券」「日系メーカー・サービス」と続いており、日系企業の志望度も高まっていることが特徴です。日系企業はコンサルや外資系企業に比べて選考時期が遅い傾向にあります。4割超の学生が大学4年生の6月まで就活を続けると回答した結果と合致します。

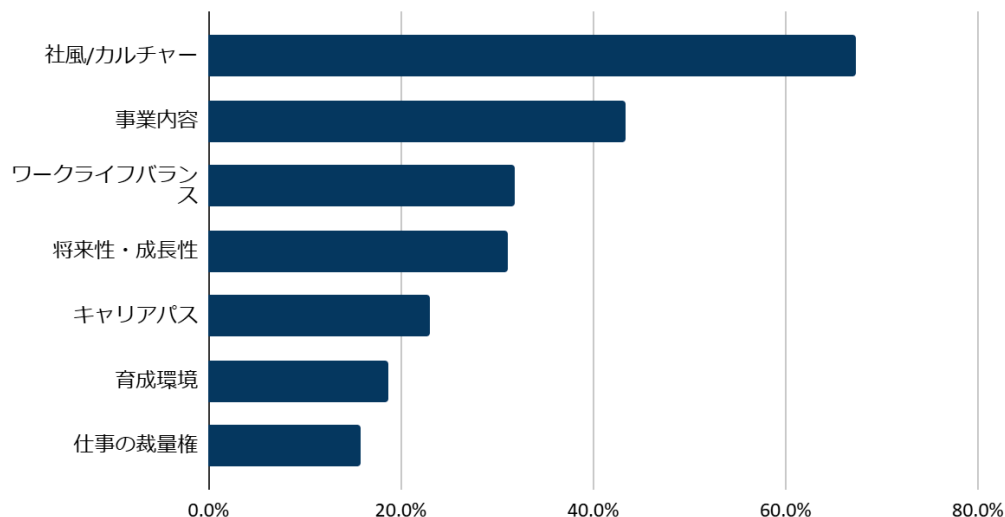
志望する業種を教えてください（複数回答可）



サマーインターンシップを通じて企業選びで特に重視するようになった点を聞いたところ、「社風/カルチャー」がトップで、次いで「事業内容」となっています。

就活が長期化する中、秋冬以降もインターンシップなどを通して企業は自社の社風や事業内容の魅力を十分にアピールし続ける必要があるでしょう。

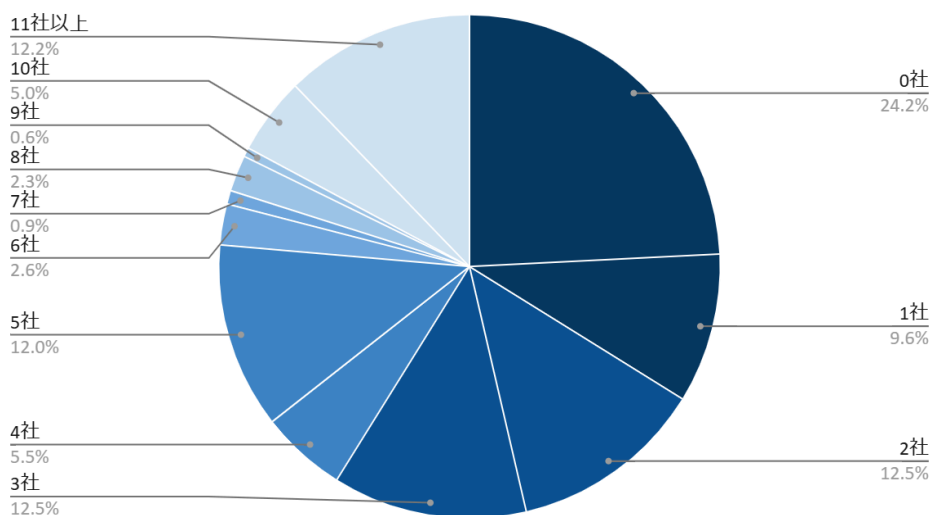
サマーインターンシップを通じて、企業選びにおいて特に重視するようになった点がありますか（複数回答可）



#### 4. 本選考に進む学生が多数派

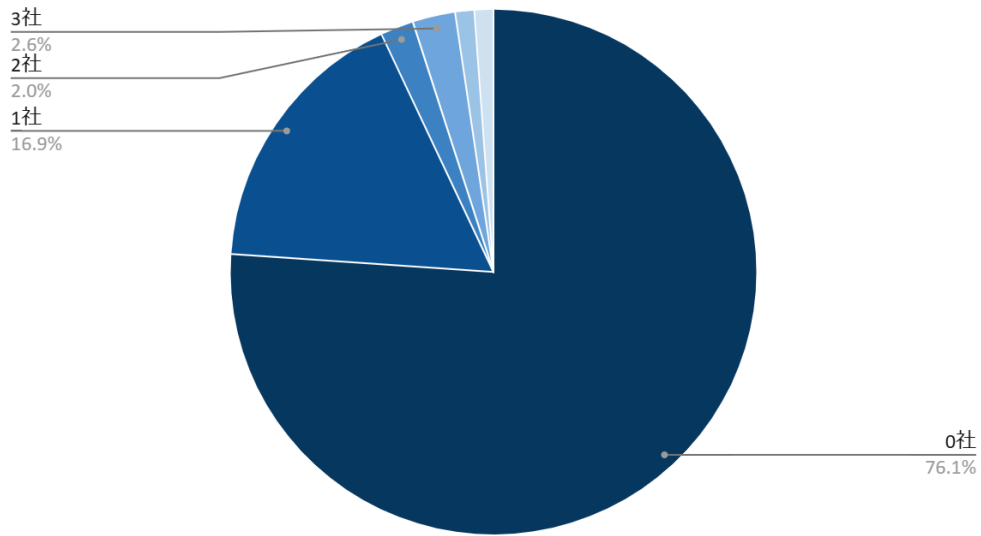
外資就活ドットコム会員から人気のあるコンサル業界や外資系企業では、サマーインターンを通して本選考を行う企業が珍しくありません。サマーインターン参加後の本選考の参加社数を聞いたところ、0社が24.2%と一番多い回答となりましたが、11社以上の人も12.2%おり、選考に進む学生の方が多く結果となっています。

現段階で採用選考へ参加した企業数は何社ですか



調査時点で全体の76.1%の学生は内定を獲得していませんでしたが、16.9%がすでに1社から内定を獲得していることも判明しました。サマーインターン経由で早期に内定を出すコンサルティングファームが影響していると言えます。

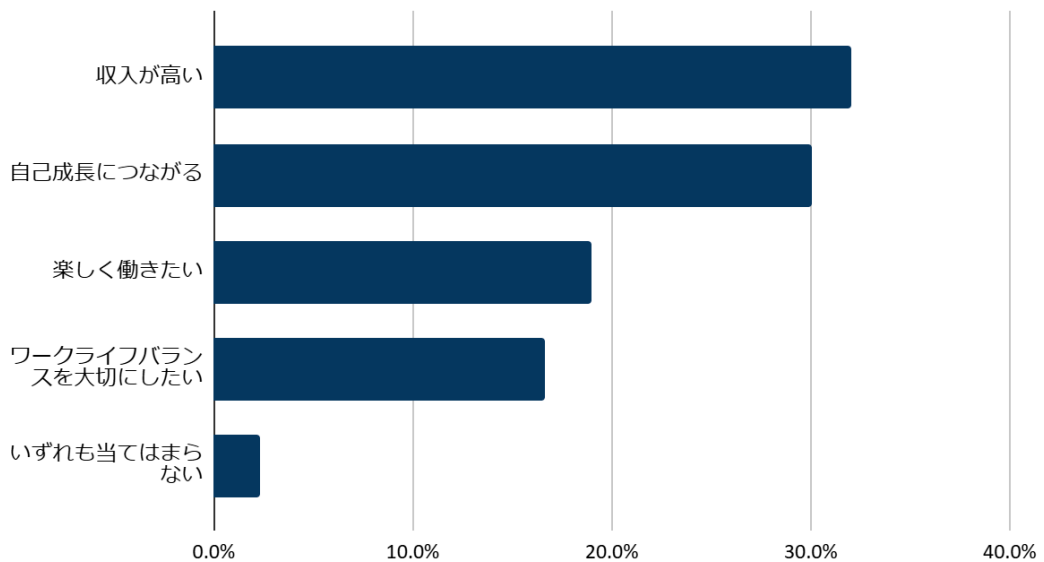
現段階で内定を獲得している企業数は何社ですか



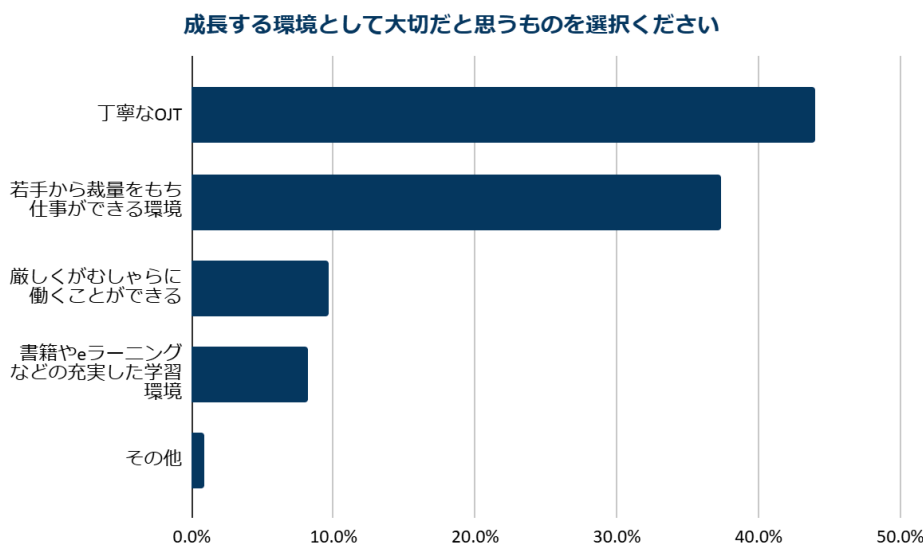
5. 企業選びで大切にしていることは「収入が高い」

企業を選ぶ際に最も大事にすることを聞いたところ、「収入が高い」ことが最も多く回答を集めました。これに「自己成長につながる」や「楽しく働きたい」が続いており、ワークライフバランスを抑えました。高い報酬を得られることや自己成長を重視する優秀層学生の価値観がうかがえます。

企業を選ぶ際、最も大事にすることは何ですか



成長する環境として学生が大切するものとしては、「丁寧なOJT」と「若手から裁量をもち仕事ができる環境」がともに4割近くを占めました。優秀層の学生は「自分の市場価値を上げたい」「若いうちからチャレンジしたい」という志向性を持っており、それが叶う環境を選ぶ傾向にあります。



## 調査概要

調査期間:2024年9月30日-2024年10月27日

調査方法:WEBアンケート

対象:2026年卒業予定の外資就活ドットコム会員(大学生のみ)

有効回答数:343名

・各項目の比率において、端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。

・本調査を引用される際には、「外資就活ドットコム調べ」と必ずご記載ください。

## 「外資就活ドットコム」について

「世界で挑戦できる人材を育み、未来を創る」を掲げ、ユーザーファーストを追求した大学生向けキャリアプラットフォーム。次世代リーダーを目指す上で必要な羅針盤と方法論を提示すべく、キャリアを深掘りしたコラム記事、厳選した本選考情報ならびにインターンシップの情報、学生同士のコミュニケーション機能、社会で活躍するプロフェッショナルから直接回答が得られるOB/OG相談室など、豊富なコンテンツを取り揃えています。

サービスページ:<https://gaishishukatsu.com/>

企業様向けページ:<https://go.gaishishukatsu.com/biz>

## 会社概要

会社名 株式会社ハウテレビジョン



代表者 代表取締役 音成洋介  
所在地 〒107-6032 東京都港区赤坂一丁目12番32号 アーク森ビル32階  
設立 2010年2月9日  
事業内容 プラットフォーム運営事業  
運営サービス 外資就活ドットコム、Liiga、mond、ログリオ

※本リリースは東商記者クラブに配信しています。